



今月のテーマ

第1438回例会

2016年7月14日 Vol.31/No.2

■ 次回の例会 / 第1439回 平成28年7月21日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告……………各委員長
- 新年度活動方針……………小委員会 7名、SAA

【出席率状況報告】

- ・ 会員数 ……………55名
- ・ 出席者 ……………41名
- ・ 欠席者 ……………14名
- ・ 出席率 ……………74.55%
- ・ 6/29の修正出席率…85.45%

■ 会長挨拶

会長 香川美穂子



こんにちは！10日のトライアスロン大会は大変なお天気の中無事開催できました。押川会員を中心に沢山の協力者の方々ありがとうございました。お疲れ様でした。インターアクトやロータリーアクトの学生達もとても楽しみに準備から片付けまで活躍してくれた様で「若さ」はすごいなと思いました。見ていてこちらも元気になります。この大会も18回を重ね、全てボランティアによって開催されるとてもユニークな大会とおさきしました。この様な地域貢献の事業をする事はロータリーにとっては大事な活動であると認識致します。ライオンズクラブやユニセフに比べ一般的にはロータリークラブは認知度が低いと言われておりますし、「お金の掛かるクラブだからお金持ちしか入れ無い」と思われているとも聞きます。それではロータリークラブとしてちょっと困りますね。本来の趣旨である、社会に対しての奉仕活動、クラブ内部では「多くの人と知り合い、見識を深める交流の場」と言う肝心要のクラブの姿が見えません。やはり会員一人ひとりが「本来のクラブとしての有り様を意識して行動する」「一歩踏み出して色々なチャンスを掴む」という事が大事かと思えます。

今日は7月14日フランス革命の日です。先週は7月7日の七夕様でした。「この年度は何か日々付き」と感じるスタートです。

会長スピーチの時間は「会長が自由に使って良い時間」とききました。又ロータリーに関心する事を話さ無いといけ無い時間」とも聞きました。私としては、私の何気無い話の中から「ロータリーの根本的テーマや心を感じ取っていただき、心に留めていただけたら」と思っております。

3月にありました指宿でのエレクト研修セミ

ナーでいただいた教科書的な冊子を聞いておりましたら、バスタガバナーの菊地平さんの書かれた文面が目にとまりました。「ロータリーの原点」と言うコーナーで「最初は、お互いの商売を利用して金儲けに利用したらどうか」と言う物質的相互扶助という考え方から始まったロータリークラブが、社会奉仕の第一歩として公衆トイレを建築し、その次の段階として「自分の儲けを優先させるのではなく、自分の職業を通じて他人に貢献する」という意図を持って事業を営むべき」と進化して行ったとありました。「職業」は我々が生きていく為の手段です。これは「自分の為のもの」です。職業を通しての活動は「社会奉仕となる」と田中氏は言うておられます。私は「自分の職業にベストを尽くし活動すればそれは職業奉仕」と思っていました。田中氏は「社会奉仕」と言うておられます。チョット驚きでした。田中氏の「職業奉仕」と「社会奉仕」の分け方は「受益者は誰か？」という事だそうで、「ロータリアン以外の人が受益者になるのを「社会奉仕」、ロータリアン自身が受益者になるのを職業奉仕」と定義付けておられます。ただそこで私は、生活の為に社会に役立つ仕事に精を出していけば（その段階ではお客が受益者となりますから「社会奉仕」でしょうが）結果的にお客が信用して仕事の依頼が増え、自分自身が受益者となり「職業奉仕」となるのではと思えました。つまり「情けは人の為ならず」の言葉です。更に田中氏は、「例会に出席する事がその職業の代表としての自分を磨く職業奉仕としての実践である」とおっしゃっています。この言葉はなかなか含蓄のある言葉だと思いました。この1年これを良く考えて行きたいと思いました。

■幹事報告

幹事 江藤敏治



私としては今年度初めての幹事報告です。まず、野中玄雄様よりガバナー退任のご挨拶状が届きました。また、6月29日に開催した家族懇親会にご参加いただいた宮崎県スポーツ吹き矢協会の二本幹男様より丁寧なお礼状をいただきました。理事会決定事項として、ロータリー財団募金の再開とクラブ会員増強を引き続きお願いすることとしました。7月30日には龍山ロータリークラブから交換留学生も宮崎を訪れます。歓迎会、送別会などもご参加お願いいたします。皆さん今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

■トライアスロン大会報告 委員長 高橋誠司



7月10日第18回シーガイアトライアスロン大会が開催されました。試合当日は試合10分前まで雷とのにらみあいでしたが、無事、時間通り午前9:00に大会を開催することが出来ました。会員の皆様にはお忙しい中、ロータリーアクト、選手、ボランティアの応援をかねて大会への多くの参加を頂き、また表彰式には天気にも恵まれ、優勝者へビールジョッキ型のトロフィーへ草田会員からアサヒ飲料を注ぎ乾杯式や、ジュニア優勝者へは香川会長の贈呈式があり、すごく良い大会になりました。

選手の中には、5年間続けて出場の香川県 観音寺東RC 小林英夫さんが出場されており、大会前と完走後にテントにご挨拶に来ていただきました。

大会競技中雨にはなりましたが、押川実行委員長中心に400名近い学生ボランティアや一般ボランティア、宮崎中央ロータリーの皆様の熱い応援で大きな事故も無く無事に終了いたしました。ありがとうございました。

■シーガイアトライアスロン大会報告

実行委員長 押川純一郎



第18回シーガイアトライアスロン大会は、スイムスタート5分前まで、雷雨による影響で、中止するかの判断を迫られる緊迫した状況でしたが、奇跡的に天気が回復し、全カテゴリーを、無事故

で終了することができました。

選手の皆様からは、スタッフボランティアの皆様へ感謝のメールが多数届いております。会員の皆様には、悪天候の中、競技開始から表彰式まで応援を頂きまして、本当にありがとうございました。

■トライアスロン大会報告 徳留 様



第18回大会の開催に際し、皆様方に多大なるご協力とご理解を賜り誠にありがとうございました。香川新会長をはじめ多数のロータリアンに大雨の降る中、大会会場に足を運んでいただき、熱心に観戦、応援をいただきました。また、新会長には表彰式のプレゼンターまで動めていただき長時間にわたりご協力をいただきましたことに重ねて御礼を申し上げます。

また前日、当日の選手、ボランティア受付に関して今年はロータリーアクトの皆様のご協力のもと実施させていただきました。後藤さん、黒木さんも事前の打ち合わせ会議に何度も出席いただき打ち合わせを重ね、見事にノーマスでやり遂げていただきました。これもひとえに黒木委員長をはじめロータリアンの皆様方が温かくロータリーアクトを育てて見守っていただいている賜物だと感心させていただきました。

さて、大会は、実行委員長の素晴らしい決断のおかげもあり奇跡的に開催することができ、おかげさまで参加者からは大変高い評価をいただいております。毎年実施するアンケートの最大の高評価はいつも「ボランティアのホスピタリティ」になっております。今回も雨の中高校生ボランティアが一生懸命応援してくれたことが励みになったという多数の声が寄せられました。

19年前にローカルの一大会としてスタートしたこのイベントが日本中のトライアスリートから「一番好きな大会だ」とか「こんなに楽しい大会はない」というコメントをいただけるまで成長させていただきました。さらに本大会が引き金になり今年の10月にワールドカップ宮崎大会の開催が決定されるまでになり、我々が夢見たことが一つ一つ実現でき、これも皆様方をはじめ多くの方々がこの大会を長期にわたりボランティア精神で支えていただいたおかげであると思っております。

発行/宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/香川美穂子 副会長/三輪修珍・田中 寿 幹事/江藤敏治